

ここが聞きたい!



宮本理一郎議員

- 総合計画前期を終え進捗は
- 東高跡地分譲化の計画は
- 保育所民営化は



総合計画前期を終え進捗は

総合計画の進捗状況は。

総務課長

現在、集中改革プランの実施状況を具体的に検証している段階です。

『財政の健全化を図る』という点では歳入歳出の状況は。

総務課長

バランスは取れていますが、78%が依存財源の中で、事業を行っており、苦しいことには違いありません。

自主財源が22%という中で財源確保の具体的方策は考えていますか。

総務課長

公共事業のコスト削減、企業誘致の推進、経常経費の削減など、多方面に取り組んでいます。

総務課長

現在73億程度です。大きな起債はせず、自助努力を重ね20億程度減らしています。

合併時90億の起債は、現状はどうなっているのか。

企画情報課長

現在、東高跡地について、基本計画、来年度について実施計画、工事の施工という流れ

東高跡地分譲化の計画は

田園型ライフスタイルの創造発信と良好な住環境の形成という目標で、具体的な動きは。

基本目標の実施状況はどうか。

企画情報課長

4分野合計148事業。総事業費38億4600万円の事業を推進中です。

要望

大金の投資です。費用対効果、投資効率を考え、より一層の努力を望みます。

町長

平準より少し良質な宅地化です。

中途半端なやり方や投資は、理想的なライフスタイルの提案ができるのか疑問。高所得者層を狙って、県内外、全国に募集を発信するくらいのこと

を考えていないのか。

町長

生涯定住を前提に、若年層を対象にした住宅構成が東高跡地です。

幼児児童をもつ若い夫婦でも高所得者層はいます。

本町の良質な分譲のユニークな取り組みを全国に発信したらどうか。

町長

これから子どもをもつ方々を中心に考えるのが大切だと思います。

保育所民営化は

保育所を経営という側面から見た時、現状が良いのか、また早期に民営化という具体的行動に出るべきなのか。

町長

スムーズな経営ができる保育所を目指すべきだと思います。行革大綱注2に沿って、理想的な保育所づくり、民間移譲も考えてまいります。

保育教育は、早い時期に潜在能力を引き出すという点で重要な意味がある。『コミネ式』というノウハウが目玉になっているが取り入れる意図はあるか。

町長

公的保育所では無理です。理想の形を採るとすれば、当然、民間に移譲する選択肢をせざるを得ないと考えます。

注2「行革大綱」健全な財政運営、「効率的な行政サービス」の協働のまちづくりの3項目を柱に上毛町総合計画の将来像である『みんなでひらく上毛の未来の実現を目指す』合併後の平成19年3月に策定された行政改革の基本方針のこと。

平成24年度 上毛町が独自に行う主な事業

スマートIC アクセス道路事業 1億1776万円

● 農産物の流通など、産業振興及び企業誘致や観光の促進

東高跡地宅地造成事業

3357万円

● 転出者の減少と転入者の増加を目指す50戸程度分譲のための設計監理委託、測量業務他及び文化財調査費

不妊治療助成事業・病児保育事業・感染症予防事業 2760万円

● 安心して子どもを産み育てられる環境整備(不妊治療一部助成)(病気療養中児童の一時預かり)(子宮頸がん・小児肺炎球菌・ヒブワクチンの全額公費負担)

保育サービスの充実(雇用の確保)

嘱託保育士 155,700円/月
代替保育士 6,800円/日
臨時看護師 6,800円/日

● 待機児童の解消に向け保育士雇用条件見直し(常勤臨時保育士の賃金月額制導入、代替保育士の日額単価見直しなど)

住宅用太陽光発電システム補助事業

1000万円

● 環境に優しい自然エネルギー活用事業(上限20万円/件)

簡易水道事業(変更認可申請)

1220万円

● 定住促進を目指し、快適な住環境整備の一環として、給水区域を拡張(計画給水区域1次:成恒、緒方、下田井・新谷)

有田地区生活用水供給施設整備事業

1350万円

● 地域間交流拠点施設整備(グリーンツーリズム注1)と民泊の促進)

合併浄化槽設置補助事業

6120万円

● 環境に配慮した合併浄化槽の設置費を助成(浄化槽:7人槽 84万円×50基など)

注1)グリーンツーリズム=緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。言い換えれば、農山漁村で楽しむゆとりある休暇。グリーンツーリズムの基本は、農山漁村に住む人々と都市に住む人々とのふれあい、つまり都市と農山漁村との住民同士の交流のこと。